

## 北へ(小林旭)

名もない港に 桃のはなは咲けど 旅の町には  
安らぎはないさ お前と別れた むなしさ抱いて  
俺は明日もまた北へ流れる

間奏

お前のやさしさ 酒に浮かべ ひとり  
遠い霧笛に あの夜をさがす  
愛していりゃこそ つれなくしたが  
今もこの胸で ゆれるほほえみ

## 時計をとめて(坂本すみこ)

前奏

私たちのために 時計を止めて いつまでもこ宵がすぎないように  
あなたとふたりで すごすこの夜は イツテクタク  
かなしみ やるせない思い、  
時計よお前よ 心あるならば 二度とないこの時をすぎないでくれ。  
過ぎゆくときは 帰らぬ思い出 だからお願い時計をとめて

間奏

時計よお前よ 心あるならば 二度とないこの時をすぎないでくれ。  
過ぎゆく時はかえらぬ思い出 だからお願い時計をとめて！

すきま風

人を愛して人はこころひらき、傷ついてすきま風知るだろう  
いいさそれでも生きてさえ いればいつか優しさにめぐりあえる  
その朝お前は 小鳥のように 胸に抱かれて 眠ればいい

間奏

夢を追いかけて 夢にこころとられ つまずいて、すきま風見るだろう  
いいさそれでも生きてさえ いればいつか微笑みにめぐりあえる  
その朝 お前は野菊のように 道のほとりに咲いたらいい  
いいさそれでも生きてさえ いればいつかしあわせにめぐりあえる  
その朝お前は すべてを忘れ 熱い涙を 流せばいい

君といつまでも

ふたりを夕闇が つつむこの窓辺に  
明日も素晴らしい 幸せが来るだろう  
君の瞳は星と輝き 恋するこの胸は 炎と燃えている

大空染めてゆく 夕陽色あせても  
ふたりの心は変わらない いつまでも

間奏

「しあわせだな 僕は、君といる時が一番しあわせなんだ」  
「僕は死ぬまで君を放さないぞ いいだろ！」

君はそよ風に髪をとかせて、優しくこの僕のしとねにしておくれ  
今宵も日がくれて時は去りゆくとも 二人想いは変わらないいつまでも

## おふくろさん

おふくろさんよ おふくろさん  
空を見上げりや空にある  
雨が降る日は傘になり お前もいつかは  
世の中の傘になれよと教えてくれた  
あなたの あなたの真実  
忘れはしない

間奏

おふくろさんよ おふくろさん  
花を見つめりや 花にある  
花のいのちは短い  
花のこころの潔さよさ  
強く生きよと教えてくれた  
あなたの あなたの真実  
忘れはしない。

## 男と女のラブゲーム

(女) 飲みすぎたのはあなたのせいよ  
(男) 弱い女のいとしさを

(女) 飲みすぎたのはあなたのせいよ  
(男) 可愛いおまえのつよがりを

(女) お久しぶりね  
貴女が来るなんて  
噂をしてたの女の感ね

(男) 仕事のせいさ  
いつも想うのは おまえのことだけさ  
(女) 嘘つきね (男) 困らせる  
(女) 意地悪ね (男) わかるだろ  
(二人) すねて甘えてわがママを

(女) 飲みすぎたのはあなたのせいよ  
(男) 弱い女のいとしさを  
(女) 抱きしめて (男) 抱きしめて 帰したくない

(二人) 水割り行きずり 古い傷  
男と女のラブゲーム